

歴史を知れば、香りはもっと深くなる

香水の世界史 聖なる香り5000年の物語

紀元前3000年の「香料」にルーツをもつ香水。その発祥や成り立ちから、原料となる植物、文化、香水を生み出してきた調香師やファッションデザイナー、アーティスト、語り継がれる逸品まで、香水5000年の歴史に即して様々な逸話を紹介します。華やかでかわわしい香水の世界を一望できる、美しくも楽しい一冊です。

香水の発祥地は？ 最も甘美な香りの王って？
伝説の香水は？ 香水の歴史をたどりながら、
様々な疑問と香水の魅力を解き明かす



B5変形 / 並製/160ページ / 定価：本体2,300円（税別）
ISBN 978-4-7661-3973-0 C0076

香料の起源と古代文明

香料は東洋で発明され、古代エジプトやメソポタミアで神々への供物として、また社交や美容の上でも重要な役割を果たしていた。



14世紀以降に生まれた香水

エチルアルコールの発見により西洋で広まった香水。19世紀には香水の技術革新が進み、合成香料の使用を機に大量生産品となる。



歴史を作った数々の香水

シャネル「N°5」、ゲランの「シャリマー」、ランコム「トレゾア」など、代表的な香水の誕生秘話も紹介。



香水瓶の歴史と文化的意義

香水の美しさを表現するアート作品であり、貴重な収集対象でもある香水瓶のデザインは、時代や文化の影響を受けながら進化を遂げた。



書名

注文数

書店印	

香水の世界史
聖なる香り5000年の物語

エリザベット・ド・フェドー著

ISBN 978-4-7661-3973-0 C0076

定価：本体2,300円（税別）

冊